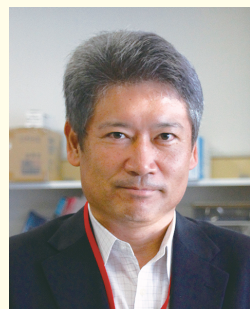


Interview インバウンド対応をしているDMOやつしろに取り組みについて聞きました。



地域から観光を盛り上げる

DMOやつしろ 事務局長
長石 祐司 さん

DMOやつしろでは、主にクルーズ船のインバウンド対応と海外に向けての情報発信に取り組んでいます。地域から観光を盛り上げるために観光応援隊「きびっと隊」を結成し、約40人の市民が有償ボランティアとして八代城跡お堀めぐり船頭や人力車などの観光業務、クルーズ船入港時の通訳業務や観光案内業務、マーケティング調査などの場面で活躍しています。

今後はもっと外国人旅行者が増えることが予想されるので、いかに八代に呼び込んでいくかが重要になります。県や市と連携し、地域の人と協力しながら取り組み、外国人旅行客のニーズに対応していきます。



▲大型のクルーズ船を受け入れる岸壁や旅客ターミナルを整備。愛称は「くまモンポート八代」

◎観光地としての魅力づくり推進
本市ならではの豊かな自然、歴史・文化、食やイベントなど、「八代の宝」を生かした体験型コンテンツの充実や滞在型観光の推進に取り組んでいます。また、訪れた観光客にその魅力を伝える通訳ガイド、インストラクターなどの専門的な人材の確保・育成に努めています。さらに市民と協力しておもてなし向上に取り組んでいきます。

◎インバウンド需要取り込みの対策強化



▲クルーズ客に八代の観光地や行き方を案内する通訳ガイド

飲食施設におけるメニューの多言語化や、Wi-Fi環境の整備のほか、電子マネーといったキャッシュレス決済機能の充実など、外国人観光客がストレスを感じることのないよう環境を整えています。

◎八代港の魅力づくり

来年4月に八代港クルーズ拠点が開港開始されることから、大きな経済効果が期待されます。また拠点内には、高さ6mのくまモンや日本庭園なども整備されることになっており、八代港の観光スポットとしても魅力が高まります。



▲本町商店街にベンチを設置し、Wi-Fiの整備を行いました。



文化

◎八代妙見祭を世界にPR

平成28年に八代妙見祭の神幸行事がユネスコ無形文化遺産に登録。ハワイの国際的文化交流イベントホノルルフェスティバルや台湾高雄旅行博（KTF）イベントでPRしました。



▲亀蛇（ガメ）がパレードに参加し、勇壮な舞を披露しました。

スポーツ

◎東京オリンピック・パラリンピック競技大会台湾のホストタウンに決定

現在、台湾バドミントン代表チームの事前合宿誘致や台湾と本市のバドミントン選手との交流を行っており、今後、オリンピック出場選手との交流を行う予定です。



▲台湾バドミントン協会との友好交流覚書調印式の様子



八代の魅力を発信

八代を世界に売り込め

今、日本各地では、人口減少に歯止めをかけ、地域を元気にする「地方創生」に取り組んでいます。

中でも、国内需要の縮小が見込まれることから

海外における需要が注目されています。

今回の特集では、本市が行っている海外へ向けた取り組みなどを紹介します。

八代の強みを生かして世界の活力を取り込む

本市はトマト、イグサ、晩白柚といった生産量日本一を誇る農産物や国際旅客船拠点形成港湾に選定され、県内最大の貨物取扱量を誇る八代港、ユネスコ無形文化遺産に登録された八代妙見祭など、多様な地域資源に恵まれています。その一方で、人口減少による地域活力の維持・向上が危惧されています。

本市が今後も発展していくためには、八代の強みを生かし、優れた産品の輸出・海外展開と訪日外国人のさらなる拡大を行い、世界の活力を取り込んでいくことが重要です。

インバウンド観光の状況

近年、本市においても東アジアなどからの訪日外国人観光客が増加しており、平成30年の本市の訪日外国人宿泊客数は4592人と、平成25年と比べて約4倍も増えています。クルーズ客による観光だけでなく、中国・台湾・香港からの個人旅行者（FIT）も増えてきているため、今後は、SNSやプロガーを活用した情報発信など、プロモーションの強化を行っていきます。

産業

◎海外販路の開拓を支援

海外でのフェア開催や展示会・商談会参加の支援、海外バイヤーとのマッチングなど、海外展開に積極的な事業者の支援を行っています。



▶(上)台湾最大級の国際総合食品見本市「Food Taipei」に出展。(下)平成26年度から行われている香港への晩白柚の輸出。

◎フランス・パリで「イグサ・晷表」をトップセールス

平成30年にはフランス・パリで開催されたG I 産品プロモーションに出席し、イグサや晷の良さをPRしました。また、今年の11月にはオーストリア・ウィーンで行われたG I 産品プロモーションで八代産イグサ製品を提供し、PRしました。



▲フランス・パリでイグサをPRする
中村博生市長

友好都市

中国・北海市

平成8年に友好都市協定を締結して以来、経済・文化・スポーツ・教育などの分野においてさまざまな交流事業を実施しています。近年は両市の学生のホームステイ体験などの教育交流や、政府関係者の視察訪問が行われています。



▲10月28日～31日に本市を訪れた北海市青少年友好訪問団
(和服着付け体験の様子)

台湾・基隆市

基隆市内で物産フェア「県南フードバレーフェアin台湾基隆市」を3年連続開催し、両市の相互交流を重ね、平成30年に友好交流協定を締結しました。



▲基隆市での友好交流協定
調印式の様子

今後の市の取り組み

国際化に向けた都市づくりを強力に後押しするために「やつしろ国際化推進ビジョン」を平成31年3月に策定しました。今後は本ビジョンに基づき、チーム八代で国際化に向けた取り組みを積極的に推し進め、全ての市民と訪れる人たちの笑顔が花咲く「国際都市やつしろ」を目指していきます。

八代の魅力を世界に広めよう

「この風景が好き」

「食べ物おいしい」

「人との触れ合いが楽しい」

皆さんが日々の暮らしの中で感じる八代のいいところ。それはどこにでもあるように、八代にしかない魅力です。

この魅力を再発見し、SNSなどを活用して皆さんの周りにも伝えてみませんか。小さな出来事でも伝えることで共感が生まれ、広がり、世界中の多くの人に八代をPRする力になります。

みんなで八代の魅力を世界に発信し、より活力と魅力のあるまちにしていきたいと思います。

市の支援制度を利用した人の声

香港へ カキを輸出

KAKIFUJI
松藤 章吾 さん



現在は主に関東に輸出しており、海外への輸出を考えていた際に市の海外販路開拓支援を知り、養殖カキの輸出を始めました。相談することで適切な支援を受けることができ、販売拡大につながったのでよかったです。

台湾で イグサをPR

ファミリーファームOKA
岡 初義 さん



今年行われた「くまもと県南フードバレーフェアin基隆市」で動画やパンフレットなどでイグサの説明をしたところ、多くの台湾の人たちに興味を持ってもらえました。商談から流通までサポートしてもらえ、バイヤーの信用性も高いので、安心して取り組みました。